こどもデイサービス

12月1月(合併号)新聞

http://www.wakoukaigo.co.jp

あたらしい年があけました。

何が見つけられるか?何が残せるか?

今年もチャレンジの年にできますように!!

謹賀新年



クリスマス会をしました!!



12/16(土)

たくさんのご家族にお集まりいただき、賑やかなクリスマス会となりました。
こさま うれ えがお ふ きあい い じゅんび かい
お子様の嬉しそうな笑顔に触れることができ、気合を入れて準備した甲斐がありました。
あと いけんこうかんかい たすう さんか かぞくさま ささ いただ じつまた、その後の意見交換会にも多数ご参加いただき、ご家族様にも支えて頂いていることをさらに実



公園へ遊びに行きました

12/2 (土)











スタッフの記憶を頼りに探していくと… あった!テニスコートのある公園! 午後から、とっても天気が良かったので、 「西福原公園へ行って遊びました。 ゆうぐで遊ぶお子さん、ボール遊び、鬼とりなどなど日差しを満喫していました。 スタッフの見守る中、ブランコに乗って 、ないました。 が飛ばしに挑戦するお子さんもいました。 なんぶちょうりょくすいこはん ゆうせいであ やかたしゅっぱつ 南部町緑水湖畔にある祐生出会いの館へ出発!!





かよ 通っているお子様の絵の先生でもある玉井詞さんの絵本の げんがてん 原画展です。なんか不思議でふふっとほころぶような世界 に浸ることができました。

_{じょうせつ} 常設のコレクションなども見て、塗り絵やスタンプもさせて もらいました。

あととなり ひろば すこ あそ かえ その後、隣の広場で少しだけ遊んで帰りました。 こさま お子様たちは寒さもなんのその!元気でした~









12月21日木曜日、こどもデイサービスわこう皆生通りにて **『あいサポーター研修』を行いました。**

"障がい"と言っても外見ではわかりにくい障がいもあり、つらい思いをされている方もいます。 初心に戻り再度理解を深めようとこの研修を希望 しました。

障がいによりサポートも違ってきます。特性を理解し、その人の思いを大切にし、共生社会の実現に協力してゆきたいと思います。

派遣講師の鳥越様、お忙しい中、ありがとうございました。

当社はあいサポート企業として登録をし、あいサポート運動の推進に協力します。

【講演】 意思決定支援について ~意思決定支援ガイドラインを踏まえて~ に参加しました。

印象に残ったのは、意思決定支援は意思形成 支援・意志表出支援が前提であり含まれている ことでした。意思形成・表出に関しては根気強い 支援が必要であり、幼少期からの支援が重要 との話。自分たちにもっとやれることや、やるべ きことがあると考えさせられました。

現場ではお子様の意思は尊重しつつも、お子様 の将来にわたる利益を考え説得したりする場面 があるのですが、そんな時でも独りよがりの支援 にならないよう、多人数で話し合って方向性を持 っていきたいと思いました。

意思受信(チューナー)能力も鍛えます!! 指導員 白川 寿子

てあら 手洗い・うがいをしましょう。 はん ご飯をきちんと食べ、早めに寝ましょう。



ゆき つ わだみさきじんじゃ はつもうでい **雪が積もっていましたが、和田御崎神社へ初詣に行きました**。

「寒いから行かな~い」「車から降りないよ~」などと言っていたお子さんも、着いたら全員お参りをしていました。

まみくじを引いて大吉の出たお子さんも何人か・・・イエ~イと写真でポーズを決めてくれました。





































体育館で遊びましたる

1/20(土)

がいけ たいいくかん い おも き からだうご 皆生のサンアビリティ体育館へ行って、思い切り体を動かしました。





年頭にあたり、日頃のご理解ご協力に感謝しますとともにご挨拶申し上げます。

今年度も残すところあと2ヶ月となり、進級・進学の時期が近づいてまいりました。

環境が変わることにより、子どもさんの気持ちにも何かしらの変化が出てくる頃かなと思います。新一年生(小学校、中学校)は、新しい環境の中で、1年間頑張ってこられたと思います。

子どもさんがわこうで過ごす時間は、平日であればとても短時間です。子どもさんの生活の中心は学校、ご家庭だと思いますが、わこうも少なからず子どもさんの生活の一部になっているように感じています。子どもさんも生活している場所(ご家族、学校、放デイ、習い事など)ごとに、時間の流れに沿った行動をとり、安心感や緊張感などを感じながら人と接していることでしょう。何かしら原因で、ストレスや疲労感を抱えている子どもさんは多いと感じます。

児童玄関から出てくる子どもさんの表情や、わこうでの様子も、日によって違います。その時はまず、「学校で何かあったのかな?」と思い、話してみたり、あえて聞かずに楽しい時間を過ごしたり、発散的活動を思い切りしたりしていますが、実際の所どうなのか…と考える事は少なくありません。お迎えの時であれば、子どもさんも側におられるので、学校側と情報を共有するにしても言葉を選びますし、時間を確保することも難しい状況です。教育の分野と福祉の分野では同じ子どもさんへの関わりであっても、介入する部分や視点が異なることは多くあります。ですが、それぞれの場所における子どもさんの様子を共有することで、それぞれの場所での姿(点)が、線の様に繋がり、それぞれの場所で見られていた言動の理由等を知る手がかりになるのではと思っています。

わこうも子どもさんを支えるネットワークの1つとして、放課後等デイサービスの役割を果たしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

事業所管理者 兼 児童発達支援管理責任者

廣瀬 晃子



